

認定こども園に係る町の方針について（整備計画の概要）

【認定こども園の特徴について】

- ・保護者の就労（仕事）に関係なく、同じ施設に子どもを預けることができます。
- ・1クラス15人～20人の適正規模とする就学前の教育・保育環境を整えます。
- ・幼稚園教諭免許と保育士資格を併せ持つ保育教諭が、園内外の研修を積み、就学前の教育・保育の充実化を図ります。

【認定こども園の整備方針について】

○与謝野町の就学前の教育・保育に関わる方針として、平成26年度に「子ども・子育て支援事業計画」（計画期間5年：平成27年度～31年度）を策定し、計画の中で、就学前の幼稚園・保育所（園）の施設整備を計画しました。

- ・岩滝地域、野田川地域、加悦地域にそれぞれ1箇所ずつ幼保連携型認定こども園を設置

岩滝地域については、既に平成28年度から岩滝保育所を活用して認定こども園の運営を行い、29年7月末に新園舎で新たにスタートしましたが、加悦、野田川地域につきましては、支援事業計画内の平成31年度までに整備をすることが困難となりました。

○そこで、認定こども園の整備につきましては、**加悦地域は平成33年度、野田川地域は平成34年度**に、町公共用地を基本として、新園舎の整備を図りたいと考えています。

【認定こども園への移行について】

○さらに、認定こども園の整備までに4～5年の期間がかかることから、岩滝地域との就学前の教育・保育環境の均衡を図るため、平成31年度から、加悦・野田川地域ともに、既存の所・園との統廃合等により認定こども園への移行を行い、町全域の均衡を図りたいと考えています。

【加悦地域の認定こども園への移行、並びに施設整備の計画】

- ① 平成30年度末（平成31年3月末）に、加悦保育園と与謝保育園を閉園し、平成31年度（平成31年4月）から、加悦保育園園舎を活用して、加悦地域の認定こども園への移行を図ります。
- ② 平成32年度末（平成33年3月末）に、桑飼保育園と加悦地域の認定こども園を閉園し、平成33年度（平成33年4月）から、加悦地域全体の新たな認定こども園の整備・開園を図ります。

【野田川地域の認定こども園への移行、並びに施設整備の計画】

- ① 平成30年度末（平成31年3月末）に、三河内幼稚園と市場保育所を閉園し、平成31年度（平成31年4月）から、市場保育所園舎を活用して、野田川地域の認定こども園への移行を図ります。
- ② 平成33年度末（平成34年3月末）に、山田保育所と石川保育所、野田川地域の認定こども園を閉園し、平成34年度（平成34年4月）から、野田川地域全体の新たな認定こども園の整備・開園を図ります。

【認定こども園整備計画（案）について】

＜加悦地域こども園（仮称）＞

- ・整備時期 平成33年3月末までに整備を完了し、平成33年4月から開園
- ・定員 180人（岩滝地域のかえでこども園と同規模）
- ・候補地 桑飼小学校の敷地内（明石地区内）

候補地は、町公共用地を基本として、公共施設等総合管理計画の方針に基づき、更地利用ではなく重複若しくは老朽化している公共施設の廃止や撤去を前提としながら、位置的条件や交通アクセスなどを検討する中、加悦地域の小学校の統廃合が平成32年度に実施される予定であることから設定しました。

＜野田川地域こども園（仮称）＞

- ・整備時期 平成34年3月末までに整備を完了し、平成34年4月から開園
- ・定員 250人 今後の就学前児童の人口推移により、定員の見直しが求められることも想定されます。
- ・候補地 中央公民館・野田川体育館・学校給食センター・与謝野町商工会本所の敷地内（四辻地区内）

候補地は、加悦地域と同様の選定の手法に基づき設定をいたしております。

〇民間の学校法人や社会福祉法人の導入も視野に入れ、調整を取りながら、整備計画を進めます。

・幼保連携型認定こども園施設整備スケジュール（案）

		H29年度 (2017年)	H30年度 (2018年)	H31年度 (2019年)	H32年度 (2020年)	H33年度 (2021年)	H34年度 (2022年)
		計画策定	計画期間				
岩滝地域	かえでこども園	29年7月末から、新園舎にて運営					
加悦地域	加悦保育園	30年度末閉園予定		31年度から加悦こども園(仮称)を加悦保育園にて統合・開園		33年度から加悦地域こども園(仮称)を新園舎にて統合・開園	
	与謝保育園	30年度末閉園予定					
	桑飼保育園	32年度末閉園予定					
野田川地域	三河内幼稚園	30年度末閉園予定		31年度から野田川こども園(仮称)を市場保育所にて統合・開園			34年度から野田川地域こども園(仮称)を新園舎にて統合・開園
	市場保育所	30年度末閉園予定					
	山田保育所	33年度末閉園予定					
	石川保育所	33年度末閉園予定					

認定こども園について



こんなところが知りたい!

同じ 教育・保育

認定こども園は・・・

- ◆1号認定（現幼稚園児）と2号認定（現保育園児）の3歳以上児は学年ごとに同じ保育室で同じ教育・保育を受けます。ただし、時間帯が異なります。
- ◆園内で使用する用品等の持ち物は、すべて同じで何ら変わりはありません。
- ◆3号認定（3歳未満児）は現在の保育所での生活と変わりはありません。
- ◆1号認定児の帰った後、2号認定児のみが特別な教育を受けることはありません。園舎で長時間過ごす子ども達が、ゆったりと家庭的な雰囲気の中で過ごせる保育内容を工夫します。



給食

- ◆園内の調理室で調理された温かい給食を食べます。今までどおり、なるべく地域の食材を使い安全でおいしい食事の提供をします。管理栄養士による栄養管理もいままでどおり変わりはありません。
- ◆2号認定児の午後のおやつはありますが、1号認定児の午後のおやつはありません。3号認定児は午前・午後のおやつを提供します。
- ◆食物アレルギー児童の対応もします。

時間帯 が違う

- 1号認定（教育標準時間） 9：00～14：00
- 2号認定（保育短時間） 8：00～16：00
（保育標準時間） 8：00～19：00
- 3号認定（3歳未満児）は2号認定と同様に保護者の就労により短時間・標準時間があります。

- ◆早朝保育を実施します。7：30～8：00
- ◆1号認定には、夏・冬・春の長期休業があり、休業期間中には、必要に応じて預かり保育を実施します。（有料）

施設の中は


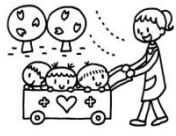






- ◆機能的で安全な施設になります。
- ◆子ども達にとってより良い環境を整えます。
- ◆認定こども園の中には、一時保育をする部屋や子育て相談室をもうけ、地域の未就園児やその保護者にとって利用しやすい施設になります。

資格

- 担任する職員はどんな資格を持っているの？
- ◆幼稚園教諭免許と保育士資格を併せ持っている職員を、認定こども園では保育教諭といいます。施設長を中心に、2つの資格を持った職員が園内外での研修を積み、認定こども園としての機能を充実させていきます。幼稚園は教諭、保育所は保育士という資格を持っています。



かえでこども園の一日の生活

時間	0・1・2歳児(3号認定児)	幼児(2号認定児)	3・4・5歳児(1号認定児)
7:30		早朝保育利用園児 登園 早朝の先生と一緒に過ごす	
8:00		保育標準時間利用園児随時登園 早朝保育児と一緒に過ごす	
8:30	担任とあいさつをする 健康観察 好きな遊びを楽しむ	担任とあいさつをする ・持ち物の片付け ・健康観察 ・友達と遊ぶ	登園 担任とあいさつをする ・持ち物の片付け ・健康観察 ・友達と遊ぶ
9:30	☆おやつ ☆保育教諭や友達と遊ぶ		
10:00		3・4・5歳児は同一カリキュラムで教育を行う	
		教育活動 ・同年齢や異年齢との活動 ・自然とふれあう活動 ・リズム・製作・運動遊び等	
11:00	☆給食準備 ☆給食	☆給食準備 ☆給食	☆給食準備 ☆給食
		☆歯磨き	
12:00	☆お昼寝準備 ☆お昼寝		☆総合的な活動 ☆降園準備
			・絵本や紙芝居を見る
13:00		・3.4.5歳児一日の振り返り	・3.4.5歳児一日の振り返り
14:00		☆お昼寝準備	
14:30	☆めざまめ ☆おやつ	☆お昼寝 (3歳通年、4・5歳夏期のみ)	保護者と一緒に降園
		☆めざまめ	預かり保育
15:00	☆遊び	☆おやつ ☆遊び	☆遊び
			☆降園(随時)
	☆降園準備	☆降園準備 ・絵本や紙芝居をみる ・明日も元気に登園しましょう	
16:00		保護者と一緒に降園	
	延長保育：異年齢児と一緒に遊ぶ		
18:30	降園(16時～随時)		